

高校再編計画(後期計画)に関する
意見交換会
【両磐ブロック】

令和元年 8月 6日(火)
一関市総合体育館
18:00 ~ 19:30

次 第

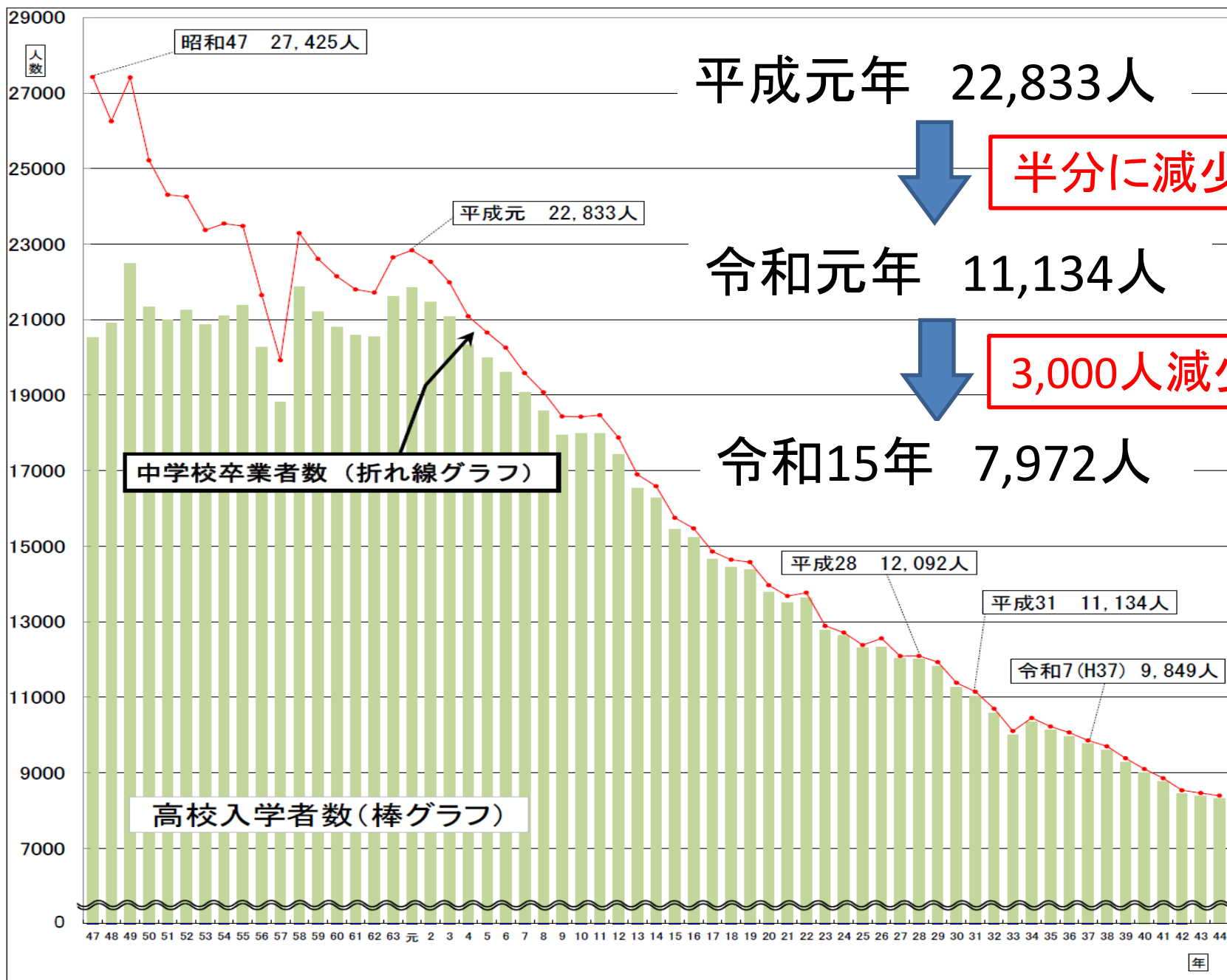
- 1 開会
- 2 県教育委員会あいさつ
- 3 概要説明 ※一旦、質問時間を設けます
- 4 意見交換(フリートーク)
- 5 閉会

概要説明の流れ

- 1 県やブロックの状況について
- 2 高校再編計画の趣旨
(ねらい、視点、考え方)
- 3 高校再編計画(前期計画)の進捗状況
- 4 後期計画の策定について

1 県やブロックの状況について

岩手県における中学校卒業生数及び高校入学者数の推移



1 中学校卒業者の推移（県内ブロックごと）

	H31. 3	R2. 3	R3. 3	R4. 3	R5. 3	R6. 3	R7. 3	R8. 3	R9. 3	R10. 3	R11. 3	R12. 3	R13. 3	R14. 3	R15. 3
盛岡	4,263	4,175 -88 -88	3,901 -274 -362	4,189 288 -74	4,023 -166 -240	3,997 -26 -266	4,000 3 -263	3,964 -36 -299	3,803 -161 -460	3,749 -54 -514	3,517 -232 -746	3,427 -90 -836	3,487 60 -776	3,479 -8 -784	3,307 -172 -956
岩手 中部	1,879	1,754 -125 -125	1,690 -64 -189	1,669 -21 -210	1,667 -2 -212	1,736 69 -143	1,601 -135 -278	1,586 -15 -293	1,504 -82 -375	1,483 -21 -396	1,462 -21 -417	1,414 -48 -465	1,366 -48 -513	1,353 -13 -526	1,297 -56 -582
胆江	1,166	1,174 8 8	1,045 -129 -121	1,117 72 -49	1,117 0 -49	1,091 -26 -75	1,018 -73 -148	1,067 49 -99	1,043 -24 -123	971 -72 -195	944 -27 -222	914 -30 -252	914 0 -252	897 -17 -269	861 -36 -305
両磐	1,164	1,084 -80 -80	1,075 -9 -89	1,057 -18 -107	999 -58 -165	997 -2 -167	958 -39 -206	929 -29 -235	872 -57 -292	847 -25 -317	829 -18 -335	787 -42 -377	753 -34 -411	733 -20 -431	694 -39 -470
気仙	499	467 -32 -32	438 -29 -61	415 -23 -84	396 -19 -103	406 10 -93	421 15 -78	380 -41 -119	354 -26 -145	372 18 -127	343 -29 -156	355 12 -144	353 -2 -146	351 -2 -148	330 -21 -169
釜石 ・遠野	572	527 -45 -45	519 -8 -53	532 13 -40	522 -10 -50	483 -39 -89	508 25 -64	454 -54 -118	466 12 -106	504 38 -68	465 -39 -107	448 -17 -124	433 -15 -139	412 -21 -160	409 -3 -163
宮古	652	574 -78 -78	580 6 -72	553 -27 -99	621 68 -31	574 -47 -78	511 -63 -141	498 -13 -154	549 51 -103	538 -11 -114	495 -43 -157	478 -17 -174	507 29 -145	504 -3 -148	475 -29 -177
久慈	509	504 -5 -5	449 -55 -60	456 7 -53	474 18 -35	427 -47 -82	461 34 -48	427 -34 -82	422 -5 -87	410 -12 -99	408 -2 -101	382 -26 -127	353 -29 -156	346 -7 -163	326 -20 -183
二戸	430	419 -11 -11	398 -21 -32	416 18 -14	386 -30 -44	351 -35 -79	371 20 -59	355 -16 -75	349 -6 -81	359 10 -71	329 -30 -101	289 -40 -141	280 -9 -150	279 -1 -151	273 -6 -157
全県	11,134	10,678 -456 -456	10,095 -583 -1,039	10,404 309 -730	10,205 -199 -929	10,062 -143 -1,072	9,849 -213 -1,285	9,660 -189 -1,474	9,362 -298 -1,772	9,233 -129 -1,901	8,792 -441 -2,342	8,494 -298 -2,640	8,446 -48 -2,688	8,354 -92 -2,780	7,972 -382 -3,162

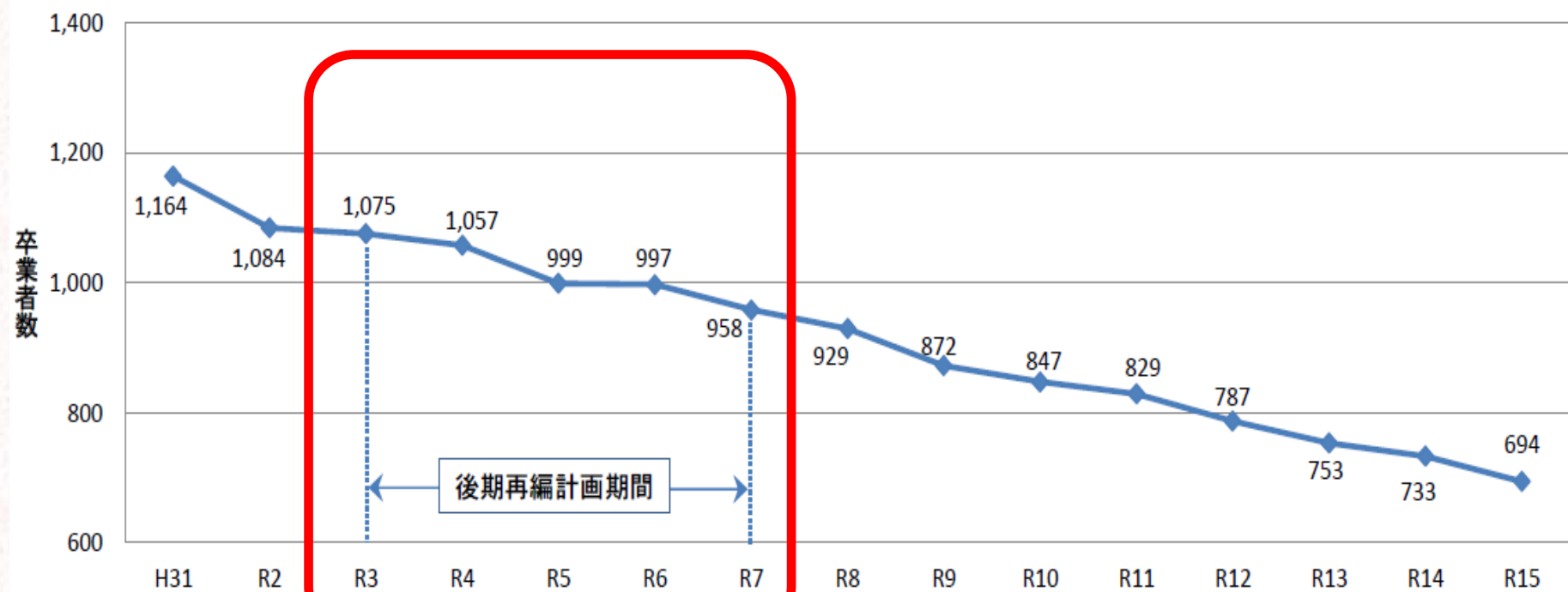
卒業生 現中3 中2 中1 小6 小5 小4 小3 小2 小1

後期計画期間

将来を見据えた取組が必要

2 中学校卒業者の推移（両磐ブロック内の市町村ごと）

	H31. 3	R2. 3	R3. 3	R4. 3	R5. 3	R6. 3	R7. 3	R8. 3	R9. 3	R10. 3	R11. 3	R12. 3	R13. 3	R14. 3	R15. 3
両 磐	1,164	1,084	1,075	1,057	999	997	958	929	872	847	829	787	753	733	694
ブロック計		-80	-9	-18	-58	-2	-39	-29	-57	-25	-18	-42	-34	-20	-39
		-80	-89	-107	-165	-167	-206	-235	-292	-317	-335	-377	-411	-431	-470
一関市	1,104	1,014	1,012	990	938	939	890	877	819	791	772	724	694	687	649
		-90	-2	-22	-52	1	-49	-13	-58	-28	-19	-48	-30	-7	-38
		-90	-92	-114	-166	-165	-214	-227	-285	-313	-332	-380	-410	-417	-455
平泉町	60	70	63	67	61	58	68	52	53	56	57	63	59	46	45
		10	-7	4	-6	-3	10	-16	1	3	1	6	-4	-13	-1
		10	3	7	1	-2	8	-8	-7	-4	-3	3	-1	-14	-15
	卒業者	現中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1					



現状のまま、生徒の減少が進んだ場合、



- ・ 多様な進路希望に対応する科目の開設が困難に。
- ・ 部活動の数、部員数が減少し、活動自体が困難に。
- ・ 集団の中での経験を積むことが不足しがちに。



このような課題が、小規模となる大半の高校で顕在化し、**生徒の希望する進路実現が難しく**なり、さらに**教育の質の維持も困難**となることが懸念されます。

2 高校再編計画の趣旨 (ねらい、視点、考え方)

新たな県立高等学校再編計画の概要

-平成28年度から平成37年度までの**10か年計画**-

- H28.3 岩手県教育委員会により策定
- H28～R7の10年間について定めた計画
【全体計画】
- 前半5年間(H28～R2)は、「前期計画」
後半5年間(R3～R7)は、「後期計画」

新たな県立高等学校再編計画の概要

-平成28年度から平成37年度までの**10か年計画**-

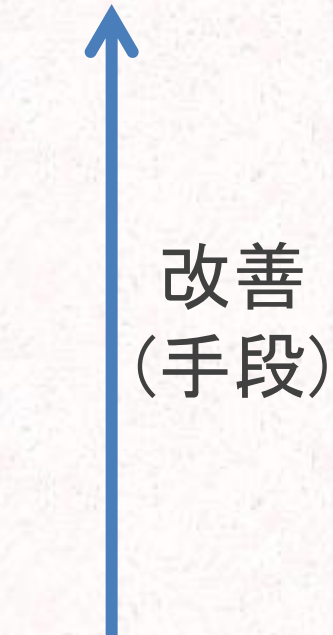
少子化に伴い**生徒が減少**する中で、東日本大震災や、**社会状況の変化**を踏まえ、**岩手の将来を担う人づくり**を進めるため、高校再編に向けた県民の皆様の御意見を伺ってきました。

いただいた意見を十分に勘案し、具体的な県立高等学校の再編を示したものであり、この再編計画を基本として、本県における**高校教育のより一層の充実を図ります**。

再編計画のねらい

岩手の将来を担う人づくり

将来
(目標)



高校再編計画に基づいた
適切な教育環境の整備を行い
高校教育の一層の充実

生徒数の減少

社会状況の
変化

現状
(課題)

再編計画の視点

- 生徒数が減少する中での望ましい学校規模の確保と適切な配置による**教育の質の保証**
- 広大な県土等の地理的条件を考慮した**教育の機会の保障**

県立高等学校配置の考え方

1 学校規模の基準

望ましい学校規模は、原則として、
1学年4～6学級程度

2 通学が極端に困難である学校の取扱い

特例として1学級でも存続。

特例校：葛巻高、西和賀高、岩泉高

3 統合の基準

4 統合に伴う校舎制の導入

3 高校再編計画（前期計画）の 進捗状況

両磐ブロックの再編計画(前期)

中学校卒業予定者数 H28 1,257人 → H32 1,059人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
一関第一	普通 6(240) 理数	1学級減(H32)	普通 5(200) 理数
一関第二	総合 6(240)	1学級減(H30) 系列見直し	総合 5(200)
一関工業	工業 4(160)	1学級減(H32) 学科改編	工業 3(120)
花泉	普通 1(40)		普通 1(40)
大東	普通 3(120) 商業 1(40)	1学級減(H31)	普通 2(80) 商業 1(40)
千厩	普通 3(120) 農業 1(40) 工業 1(40)		普通 3(120) 農業 1(40) 工業 1(40)
全日制 6校	26学級(1,040人)		22学級(880人)

新たな県立高等学校再編計画（前期計画）の推進状況（令和元年7月1日現在）

※ゴシックは計画通り実施した（実施予定の）学校

※（ ）は管理運営規則により学級減を実施した（実施予定の）学校

計画期間（H28～R2 5年間）					
年度 タイプ	平成 28 年度 （2016 年度）	平成 29 年度 （2017 年度）	平成 30 年度 （2018 年度）	平成 31 年度 （2019 年度）	令和 2 年度 （2020 年度）
専門高校					
総合的な 専門高校					宮古商業 ^(2学級) 宮古工業
普通科 専門 学科併置高校					遠野 遠野緑峰 延期
総合学科 専門 学科併置高校					久慈東 久慈工業 延期
普通高校					
学科改編 コース等見直し （学級減）			西和賀 水沢農業 <u>一関第二</u> 釜石商工 ^(2学級)	平舘 花巻南	不来方 盛岡工業 紫波総合 花北青雲 北上翔南
				水沢工業 大船渡東 宮古水産	<u>一関工業</u> 一戸 延期
					延期
					延期
					延期
学級減		大槌 伊保内	葛巻 大船渡 種市 （雫石）	盛岡第四 前沢 <u>大東</u> 山田 大野 久慈 福岡 （岩谷堂）	盛岡第三 盛岡北 <u>一関第一</u> 高田 山田 釜石 宮古 （金ヶ崎）
				延期	延期
全日制学校数	63	63	63	63	62
全日制学級数	255	253	245	236	224
（定時制）			宮古ブロック※	盛工定時制 募集停止	延期

※杜陵高校通信制課程宮古分室を宮古高校通信制課程に再編

4 後期計画の策定について

後期計画策定の基本的方針

○再編計画の視点

教育の質の保証と教育の機会の保障

○高校配置の考え方

望ましい学校規模の基準、通学困難校の取扱 等

+

社会情勢や地域の状況等の**変化を考慮**し、地域の方々等の**御意見を伺い**、後期計画の策定に向けて**丁寧に取り組む**。

後期計画の策定スケジュール

2018年(H30) <後期計画の検討開始>

12月～「地域検討会議(第1回)」

2019年(R1)

5月 「地域検討会議(第2回)」

8月 「地域検討会議(第3回)」

「意見交換会(第1回)」

9月 「出前説明会(第1回)」

後期計画の策定スケジュール

2020年(R2)

1月～「地域検討会議(第4回)」

「意見交換会(第2回)」

「出前説明会(第2回)」

広く御意見を頂戴し、
意見交換や検討等の取組を丁寧に行い、
2019年度中に「後期計画(案)」公表予定

後期計画検討上の留意点

後期計画期間（R3～R7）**以後の中学校卒業生数の減少は顕著**となる。



後期計画終了後の将来に備え、学校や学科の配置、高校教育のあり方を十分に考慮し、後期計画を策定していく必要あり。

意見交換について

テーマ

各地域の**高校**及び**学科**の
配置のあり方について等

意見交換について

- ① 地域の産業構造や担い手の育成等の現状を踏まえ、**地域に必要な学校・学科の配置**について。
 - ② 後期計画終了後も中学校卒業生数の減少が見込まれる中、学校や学科の配置に関して、
 - (A) 可能な限り現在の学校を維持する観点から、**学級数の調整で対応する考え方**
 - (B) 学校の活力向上の観点から、**学校統合で対応する考え方**
- (A) や (B) などの考え方について。

参 考 资 料

両磐ブロックの学びの状況

3 公立高校の設置学科及び学級数の状況（令和2年度）

学校名	学科	定員	学級数	設置学科（定員）
一関第一	普・理	200	5	普通科(160)、理数科(40)
一関第二	総	200	5	総合学科(200) ※人文、自然、福祉、環境・生活、ビジネスの5系列あり。
一関工業	工	120	3	電気電子科(40)、電子機械科(40)、土木科(40)
花泉	普	40	1	普通科(40)
大東	普・商	120	3	普通科(80)、【商業】情報ビジネス科(40)
千厩	普・農・工	200	5	普通科(120)、【農業】生産技術科(40)、【工業】産業技術科(40)

880 22

学科	普通	理数	農業	工業	商業	水産	家庭	総合	体育	計
学級数	10	1	1	4	1	0	0	5	0	22
定員	400	40	40	160	40	0	0	200	0	880

両磐ブロックの入試の状況

平成31年度岩手県立高等学校募集定員・合格者数等一覧表

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集定員	合格者数	過不足	総受検者数
一関第一	普通・理数	普通・理数	240	239	▲ 1	246
一関第二	総合	総合	200	202	2	273
一関工業	工業	電気	40	24	▲ 16	26
	工業	電子	40	32	▲ 8	31
	工業	電子機械	40	40	0	44
	工業	土木	40	29	▲ 11	32
花泉	普通	普通	40	36	▲ 4	36
大東	普通	普通	80	59	▲ 21	59
	商業	情報ビジネス	40	21	▲ 19	21
千厩	普通	普通	120	96	▲ 24	97
	農業	生産技術	40	40	0	45
	工業	産業技術	40	22	▲ 18	21
			960	840	▲ 120	931

<定時制>

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集定員	合格者数	過不足	総受検者数
一関第一	普通	普通	40	7	▲ 33	7

中学生の進路希望等に関する アンケート結果

(1) 調査対象

県内公立中学校第3学年及び、義務教育学校第9学年の生徒(161校 11,074人)

[参考]

H27実施時は、県内公立中学校第3学年の1学級を抽出して実施(165学級 4,546人)

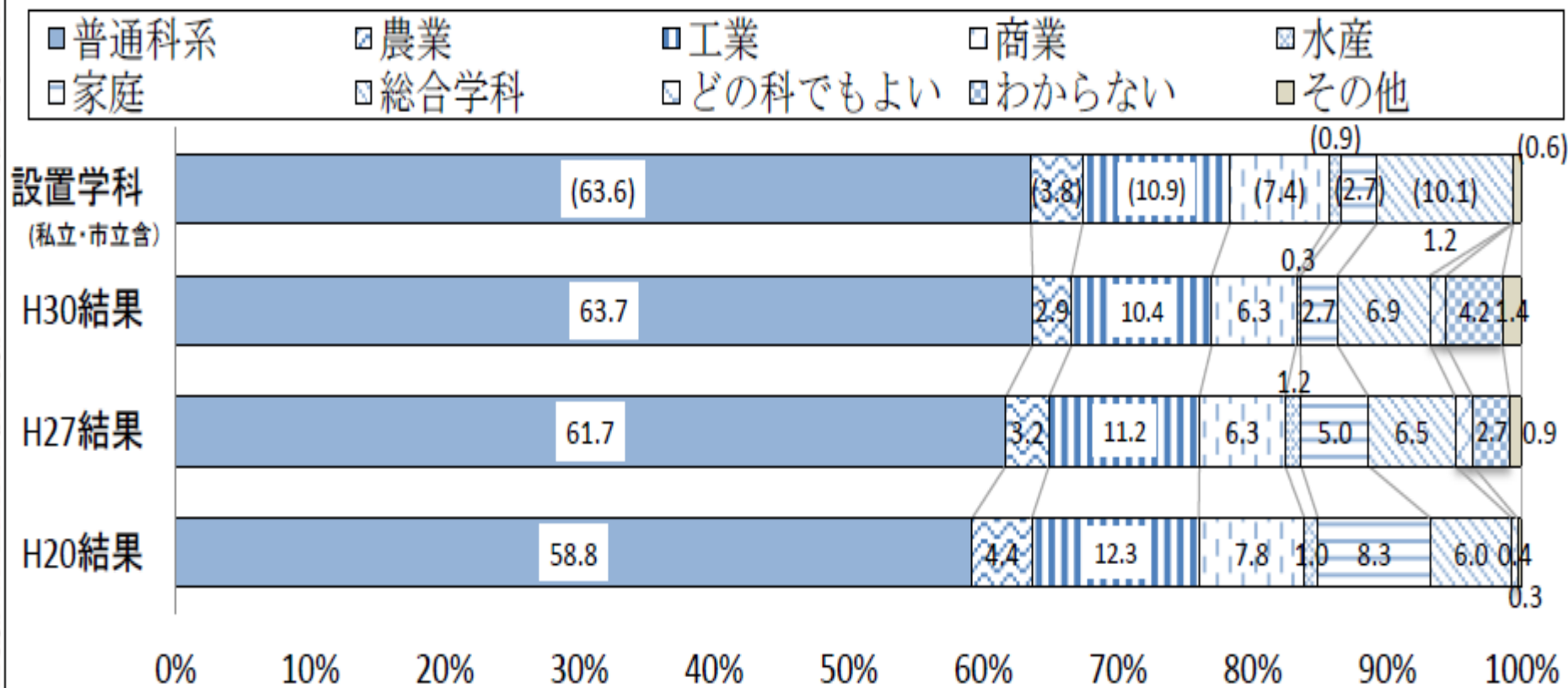
(2) 調査期間

平成30年7月6日～8月3日

質問3 進学先としてどの学科を希望しますか。

(H27 通学可能な範囲に次の学科がもし全てあるとしたら、進学先としてどの学科を希望しますか。)

全県

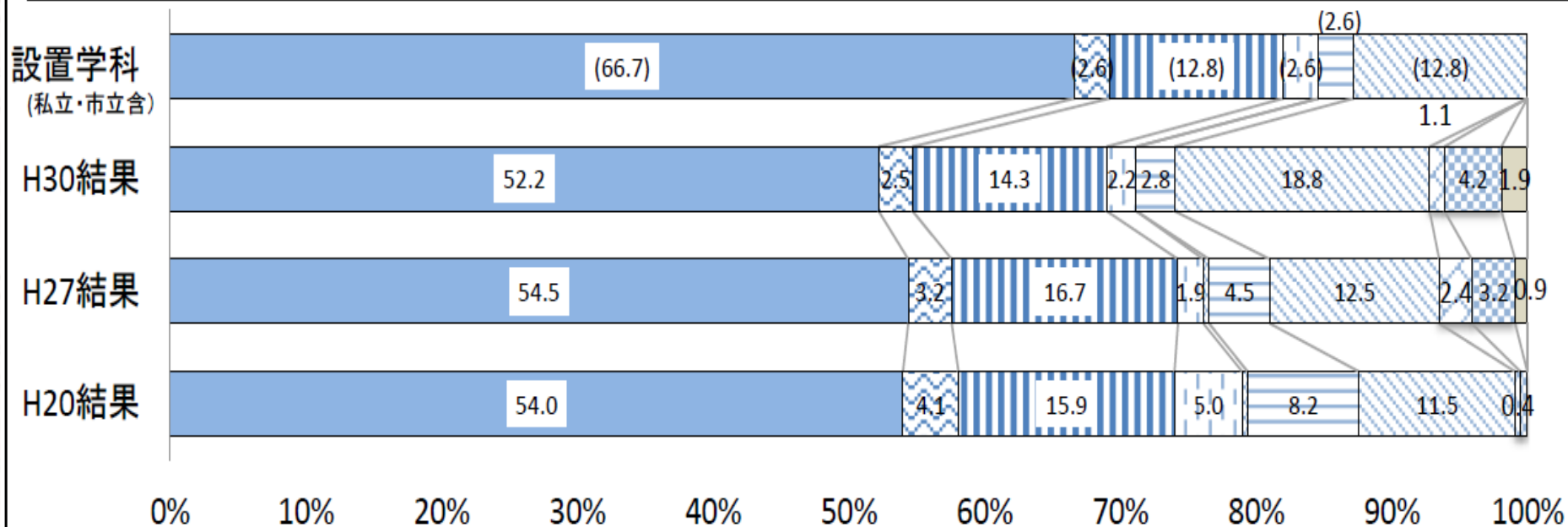


質問3 進学先としてどの学科を希望しますか。

(H27 通学可能な範囲に次の学科がもし全てあるとしたら、進学先としてどの学科を希望しますか。)

両磐ブロック

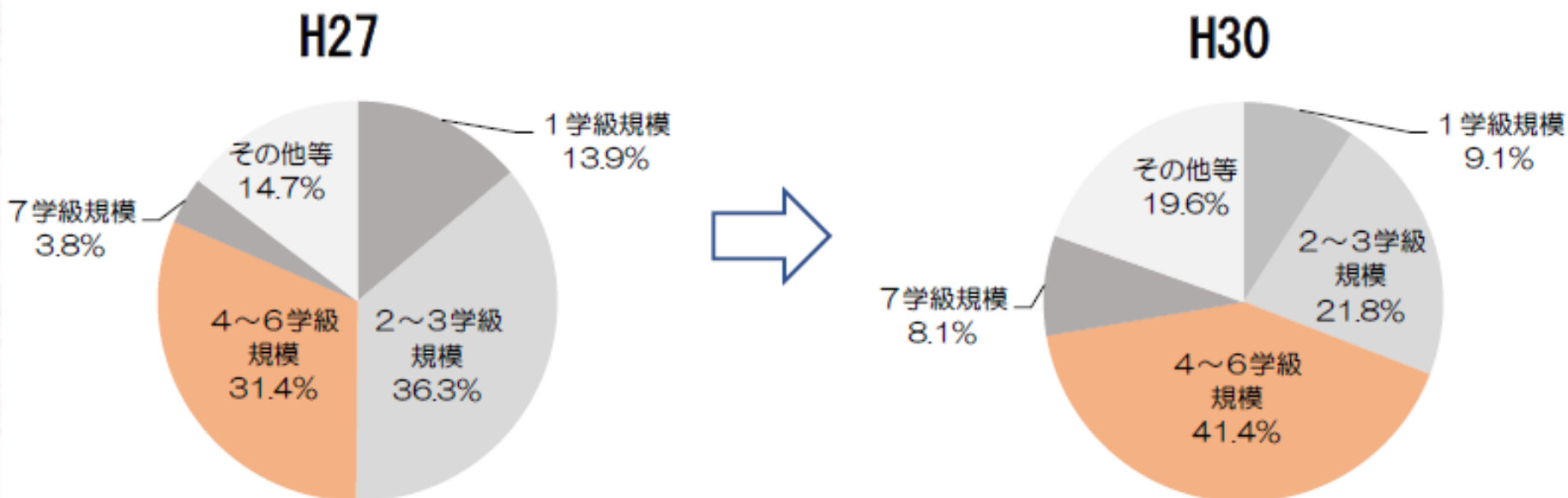
■普通科系 ■農業 ■工業 ■商業 ■水産 ■家庭 ■総合学科 ■どの科でもよい ■わからない ■その他



全県では、平成27年のアンケート結果より普通科系志望が若干増加している。設置学科割合（私立、盛岡市立高校を含む）は、中学生の希望する学科の割合とほぼ一致し、全県でみるとバランスの取れた学科配置となっている。

両磐ブロックでは、特に総合学科を希望する割合が、設置学科割合（私立、盛岡市立高校を含む）を大きく上回っている。

質問9 高校で勉強や部活動をする上で、どれくらいの規模(学級数)の高校がよいと思いますか。



- ・ 高校で勉強や部活動をする上で4学級以上（「各学年4～6学級以上の規模」及び「7学級以上の規模」）が良いと回答した割合が大幅に増加している。（14.3ポイント増加）
- ・ 小規模校（3学級以下）の割合は大きく減少したものの、一定程度はある。